

ワイル先生を囲む少子高齢化の経済学ワークショップ (10/14 金)

経済成長論の先駆的研究に 30 年以上取り組んできた David Weil 先生(米ブラウン大学)は、Mankiw, Romer, and Weil "A Contribution to the Empirics of Economic Growth" (QJE, 1992)に代表される実証研究、Galor and Weil "Population, Technology, and Growth: From Malthusian Stagnation to the Demographic Transition and Beyond" (AER, 2000)に代表される理論研究、そして"Economic Growth" (2004; 邦訳『経済成長』2010 年出版)の教科書など、経済成長論に関する実証と理論、研究と教育ともに幅広く貢献されてきました。また、日本をはじめとする先進諸国の少子化・高齢化にも長年研究関心を寄せられています。今回は、半日のワークショップを通じて、ワイル先生と日本国内の人口経済学研究者の学術議論および交流を図ります。



日時・暫定プログラム：10月14日(金)

13:00-13:05 開会の言葉

13:05-14:05 David Weil (米ブラウン大学)による人口経済学の一般書についての基調講演

14:05-14:20 break

14:20-15:20 小川直宏(日本大学・アジア開発銀行研究所)・深井太洋(筑波大学)合同発表

15:20-15:30 break

15:30-16:15 奥村綱雄(横浜国立大学)

16:15-16:25 break

16:25-17:10 古村聖(関西学院大学)

18:00-20:00 夕食交流会

場所・形式：横浜国立大学における対面開催、オンライン zoom 配信 (選択可能)

- 対面参加の方には、ワークショップ終了後に夕食交流会を予定しています
- 横浜国立大学での開催場所および zoom のリンクは、参加登録をされた方に後日お知らせします

登録：参加者の人数を把握するため、参加ご希望の方は登録フォーム

(<https://forms.gle/JaYjUNJepWnv8ZFE9>) に **10月2日(日)まで** にご記入ください

問合せ連絡先：weil.workshop2022@gmail.com までメールをお願いします

主催：横浜国立大学経済学部、東京労働経済学研究会

支援：本研究会は科研費 (ID：22H05010) の助成を受けて開催します



登録フォーム